【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成24年5月24日(2012.5.24)

【公開番号】特開2010-248359(P2010-248359A)
【公開日】平成22年11月4日(2010.11.4)
【年通号数】公開・登録公報2010-044
【出願番号】特願2009-98644(P2009-98644)
【国際特許分類】
*Ｃ０８Ｌ 101/00　(2006.01)*
*Ｃ０８Ｋ　3/22　(2006.01)*
*Ｃ０８Ｋ　3/36　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｌ 101/00
Ｃ０８Ｋ　3/22
Ｃ０８Ｋ　3/36

【手続補正書】
【提出日】平成24年4月4日(2012.4.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
粒子径が１００ｎｍ以下の金属酸化物（Ａ）と重合体エマルジョン粒子（Ｂ）を水中に分散させて含む有機・無機複合組成物であって、該金属酸化物（Ａ）が屈折率が１．８以上２．８以下の金属酸化物を少なくとも１種含み、さらに該金属酸化物（Ａ）が少なくとも、酸化ジルコニウム（ａ１）と酸化珪素（ａ２）とを含んでいることを特徴とする上記有機・無機複合組成物。
【請求項２】
前記金属酸化物（Ａ）と前記重合体エマルジョン粒子（Ｂ）が質量比で（Ａ）／（Ｂ）＝１０／９０～９０／１０、（ａ１）／｛（Ａ）＋（Ｂ）｝＝０．０１～０．５、及び（ａ２）／｛（Ａ）＋（Ｂ）｝＝０．１～０．８の範囲である、請求項１に記載の組成物。
【請求項３】
前記重合体エマルジョン粒子（Ｂ）が、水及び乳化剤の存在下に加水分解性珪素化合物（ｂ１）及び、ビニル単量体（ｂ２）を重合して得られたものであり、粒子径が１０～８００ｎｍである、請求項１又は２に記載の組成物。
【請求項４】
前記酸化ジルコニウム（ａ１）が水分散体であって、そのｐＨが８～１１である、請求項２又は３に記載の組成物。
【請求項５】
前記酸化ジルコニウム（ａ１）が酸化ジルコニウム－酸化イットリウム混合物コロイド（ａ３）である、請求項２～４のいずれか一項に記載の組成物。
【請求項６】
前記金属酸化物（Ａ）が光触媒活性を有する金属酸化物（ａ４）を少なくとも１種含んでいる、請求項１～５のいずれか一項に記載の組成物。
【請求項７】
前記金属酸化物（ａ４）が酸化チタン（ａ５）である、請求項６に記載の組成物。

【請求項８】
請求項１～７のいずれか一項に記載の組成物を基材上に形成してなることを特徴とする機能性複合体。
【請求項９】
請求項８に記載の機能性複合体を外装に用いたことを特徴とする建築物。